

予約型乗り合い タクシー導入を！

坂本 早苗 議員



＝ 運転免許返納者の支援策は？ ＝

坂本 熊本県では65歳以上で運転免許を自主返納し、運転経歴証明書の交付を受ける県内6事業者のバス・電車運賃等が半額になるサービスがある。他の自治体ではさまざまな支援が行われているが本市独自の支援策はないのか。

企画課長 本市においても何らかの支援は考えたい。

＝ 免許返納できる公共交通の整備を！ ＝

坂本 免許を返納して困るのは交通手段がないこと。バス停まで歩けないこと。高齢社会ではドアtoドアの予約型乗り合いタクシーが不可欠だ。長洲町では金魚タクシーとして成功している。

企画課長 長洲町では大変人気の高いシステムだが、本市では条件が違う。高齢者向けの乗り合いタクシーは今後利用促進を図る必要があると考えているので本市の実情に合わせて慎重に協議していきたい。

坂本 合志市では目的の地を公共施設、病院、商業施設、駅などに限定してはどうか。目的の地に合わせた乗り合いタクシーがあれば、安心して免許返納も進むのでは。



予約型乗り合いタクシー

＝ 学童保育の過密解消を！ ＝

坂本 学童保育の運営基準では1クラブの児童数は概ね40名以下とするとなっているが現状は。

子育て支援課長 本市では20の学童クラブのうち13クラブが適正人数の40名を超えている。西合志東小学校区、西合志中央小学校区では新たな施設の整備を進めている。

坂本 西合志南小、南ヶ丘小では学童保育の待機児童が出ている。早急な対策が必要では。

子育て支援課長 学校敷地内の施設確保が難しい。今後も公設民営の整備に加え、民設民営も検討したい。

心配しないで 産み働く社会を！

来海 恵子 議員



来海 待機児童の現状と対応は
子育て支援課長 平成29年4月1日現在の待機児童数は62名で、前年度より21名の増である。平成29年度は、かすみ保育園移転に伴う定員30名増を計画している。国は企業主導による保育事業を進めており、本市も複数の事業者から本年度に着手したい旨の相談があつていいる。

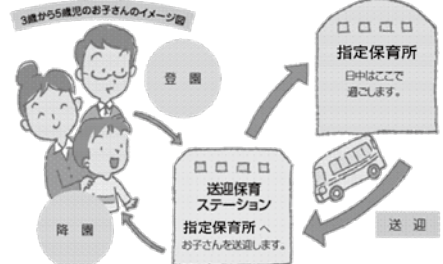
来海 入園辞退はどのくらいあるのか。また問題点は。

子育て支援課長 4月時点で36・7%が特定園希望者であり、また保育園入所決定後の辞退者は全体の10・15%である。希望はしたが、自宅や通勤路から離れている、また小学校区が異なる等が主なものである。

来海 保護者によって希望する保育園の地域が異なり、保育園自体も地域によって待機児童に対して認識に差がある。合志市内は朝夕の交通渋滞が激しいので例えば第三者に委託して、旧合志町なら南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかりをステーションに

して北部地区の保育園に送迎し、残業などで遅くなる時は延長保育を行ってはいかがか。内閣府の子ども子育て支援新制度サービス補助で保育園送迎サービスがあり、バス購入・運転手や付き添い保育士の賃金・送迎ステーション場所等の費用に2分の1の補助が出るが。

子育て支援課長 保育送迎ステーションについては、南部地区と北部地区の人口差の激しい本市においては、各保育所において適正な人数を確保する有効な対策と認識している。実施するにあたっては、利用希望調査、保育ステーションの選定、規模の把握、送迎バスや従事する保育士の確保等課題があると思う。まずはニーズ把握、先進事例等を調査・研究したい。



送迎保育ステーション

国有地払い下げでの 土壌汚染等の確認を！

神田 公司 議員



神田 医療刑務所跡地の小中学校建設に向けての工程表が出された。国有地の払い下げが、森友学園問題に端を発し、俄然注目を浴びることになった。国の審議会が払い下げの許可も出ているものの、払い下げ額の提示はこれから。国からいつ提示されるのか。新たな小中学校建設の進捗状況は。

学校教育課長 昨年度に校区の内地定を行い、今年度中にPFI業者の決定を行う予定。用地確保は、管轄をする九州財務局と、必要に応じて協議を行っている。用地取得時期は、詳細設計終了後を行う予定。時期は、学校を建てる事業者の決定の方もまだで、そこから初めて詳細設計等に入っていく。来年度の秋ぐらいを予定している。価格は、財務局と市で鑑定評価を行い決める。

神田 払い下げ等の中で、これは本当に重要な問題で、森友問題の中でもあった土壌の分析、土壌汚染やガレキ等の埋設などについて、協議の中に入れなければならない。

神田 もし土壌汚染等があれば、当然、国が処理、撤去する責任がある。改めて払い下げの過程になったときに、土壌の問題、ガレキ等の埋設等問題を、合志市としてぜひとも確認していただきたい。



小中学校建設が予定されている医療刑務所跡地

学校教育課長 土壌汚染についても、実際、事業者が決定して設計に入る段階で、早期に確認する。

マンガミュージアム 何を目指すのか？

上田 欣也 議員



上田 7月22日に合志マンガミュージアムがオープンする。運営はどのように行つのか。

政策課長 政策課でオープン準備を進めているが、今後生涯学習課に引き継ぎ連携していく。将来的には西合志図書館と連携できるように指定管理への移行も視野に入れ1・2年間モニタリングしたい。

上田 マングミュージアムは市にとってどう位置付けられるのか。また人員の配置と成果目標は。

政策課長 マンガを文化と捉え、「読む、見る、学ぶ」機会を通じて心豊かな地域社会の形成に寄与すると考える。また観光交流拠点としての役割も作りたい。兼務の職員の他に、地域おこし協力隊員を2人配置して活性化や情報発信に当たる。本年度の残り8カ月で約1万人の来館を目標としている。

＝ レターバスの存在意義とは ＝

上田 レターバスの最近の利用状況と市民の移動手段としての存在意義

をどう捉えているのか。

企画課長 運行開始から6年半が経過、平成26年には年間延べ8万人を突破したが、料金改定と熊本地震の影響で現在ピーク時の8割程度。豊かな環境や賑わいを生み出し、まちの魅力づくりに大きな役割を果たすことに意義があると捉えている。

上田 コミュニティバスは稼働のための交通機関ではないが、どこまで市の負担は可能と考えるか。

企画課長 年間運行経費の3/4に当たる3000万円が市の補填となっている。地域公共交通はそもそも民間の独立採算では維持できない公共サービスだ。今後もバランス良く利用者を増やすための施策を協議会で検討していきたい。

上田 健康づくり版ガイドブックとサポーターの活用に期待する。



レターバス左回り